

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アバンツアーレスポーツなご		
○保護者評価実施期間	令和8年2月9日		～ 令和8年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和8年2月9日		～ 令和8年3月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	サッカー支援プログラムによる運動療育	サッカーをツールの一つとして活用し、小集団での活動や他児との関わりを通して、コミュニケーション能力や協調性の向上を図っています。	サッカー支援プログラムに限らず、個別支援・集団支援の両面から、より総合的な支援の質の向上に取り組んでいきます。
2	他事業所との交流により、日常とは異なる環境での経験希価値を提供	定期的な交流機会を設けることで、新たな刺激や楽しみを感じられるように工夫しています。	交流機会の振り返りや表彰等を通じて、自己肯定感の向上につながる取り組みを継続・強化していきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	男女差が大きい	運動を中心とした活動イメージが強く、男子の利用が多くなっている現状がある。	女子利用者がいないわけではないため、 ・活動内容や雰囲気をも具体的に発信する ・女子も安心して利用できる環境であることを明確に伝えることで、女子利用につながる周知を強化していきます。
2	活動内容の認知度が低い	周辺地域との関わりが薄く、情報発信も少ないため、どのような活動をしているかのイメージが持たれていない。	・SNSや会報誌の活用による情報発信の強化 ・地域との関わり(イベント・連携)の増加により、活動内容の見える化と認知向上を図っていきます。
3			